



たらあ

平成27年
6月号
平成27年 6月1日発行
No.495

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



ピンダアース!! 山羊決闘



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。

多良間村 産業共進会

津川区総合優勝



去る5月28日に平成26年度多良間村産業共進会・納税奨励式がコミュニティ施設で行われました。各部門では優秀な成績を収めた農家を表彰。農事納税の総合成績は津川区が優勝を果たしました。

伊良皆光夫村長は「産業共進会は、生産品目の品質向上と生産意欲の向上を図り、所得の向上を目指すものであり、村内の農畜産物の栽培・育成技術及び資質向上を図ることもあり、村民が目標を一つにして、活力あふれる産業の振興を図っていくための一大行事であります。」

平成26年度の農業生産販売高は、気象条件にも恵まれ12億4千万円の大口を達成することができた。作物別に見ると、さとうきび作は夏場の総雨量は少なかったものの、適時適雨に恵まれるとともに、農家の日頃からの肥培管理のおかげで豊作型となりました。

畜産においては、年間を通して高値安定取引され史上最高額の6億7千万円の販売額となりました。高値の要因は全国的に子牛が不足していることが挙げられるが、一方で懸念されるのが上場頭数の減少であり、生産農家の高齢化への対応が課題となっております。

葉たばこ作については、9戸の農家が8千5百万円の実績となり、今年度収穫中の葉たばこが台風6号により甚大な被害を受けており、大変残念であり痛恨の極みであります。

かぼちゃ栽培については、6名の農家で23ト余、9百万円余の実績となった。さとうきび作の間作として有望作物であり、今後、農業所得に向けた、栽培技術の向上及び生産農家が増えることを期待する。

本村においては、史上最大規模の事業費となる新製糖工場・集中脱葉機械整備事業も平成27年度から実施することになった。総事業費74億円となり、2年間の実施期間となる。村民の皆様のご理解とご協力が大切であります。

納税奨励式は村財政の自主財源である。村税の納税思想の啓発及び納税成績の向上を図ることを目的に実施されています。村民の皆様には、税の公平性と村民サービスが村民全体にいきわたるためにも税の納付率向上のためご理解・ご協力をお願い申し上げます」と式辞を述べました。

農事個人入賞者及び総合成績はつぎのとおり

*さとうきび多収穫	高江洲 昭男	555.1ト
*さとうきび甘蔗糖度	花城 保夫	15.62度
*さとうきび反収	伊良皆 朝光	11.3ト
*葉たばこ多収納	知念 三雄	7.3ト
*葉たばこ品質	知念 三雄	
*カボチャ	翁長 文一	8.2ト
*畜産	豊見城 玄弘	

【農事納税総合成績】 1位 津川区 2位 大木区 3位 嶺間区

15の島立ちで自立支援を

多良間村グッジョブ地域連携協議会（委員長・池城三千雄教育長）が去る5月20日に発足した。これはキャリア教育の一環として、15歳で生まれ島を離れる生徒たちの自立を支援し、早い段階で進路選択や職業観等について学んでもらうことが狙い。

キャリア教育をとおして社会人としての規律や礼儀、言葉づかいなどを身につけ、就業意識の向上を支援し、職業観や勤労の喜びを深めるため実施される。

今年度は多良間島にない職業や職種に触れることにより、子どもたちの職業や進路の選択の幅を広げ、働く大人や地域の連携などに気づいてもらうこと。小学生6年生はジョブシャドウウイング、中学生2年生は職場体験を島外で行っていく。企業側から求める人材としては、

- * 自分の意見を伝えられる人
- * チームで働くことのできる人
- * 自ら率先して行動をおこせる人
- * 聞き取る力と読み取る力のある人
- * いろんな人との対話する力のある人
- * 挑戦できる人

そういった力が不足しているため、学校で伸ばしてほしいと企業側からの声があった。



委員は次のとおり

- 委員長＝池城三千雄(多良間村教育長)
- 委員＝富盛 玄三(多良間村観光協会会長)
- 古謝 政一＝(観光振興課長)
- 長浜 隆夫＝(NPO法人ふしやぬふネット代表理事)
- 森田 正人＝(多良間小学校長)
- 本村 晃則＝(多良間中学校長)
- 津波古昌誠＝(JAおきなわ多良間支店長)

「センター119」運用開始について

火事や急病、けが人が発生した場合の緊急連絡先が変わります。

☆沖縄県消防指令センターの概要

沖縄県消防通信指令施設運営協議会とは、多良間村を含む36市町村で構成された電話通報119番を広域的にあつかう消防指令センターの上部組織です。平成27年11月から沖縄県消防指令センター「センター119」の一部運用の開始となります。

沖縄県消防指令センターは、嘉手納町のニライ消防本部内に設置され、36市町村の救急や火事などの119番通報を一括で受付し、通報者への口頭指導や、診療所・消防等への関係機関へ連絡し迅速に対応することが可能な重要な施設となります。

・運用が開始になると・・・

- ①急患や緊急時の通報先「090-6862-6490」から「119」へ変わります。
- ②沖縄県消防指令センターから、村内の役場担当(救急)、診療所、駐在への連絡が迅速になる。
- ③口頭指導により通報者が処置対応している時に、役場担当(救急)が到着し処置対応を代わることで、少しでも多くの傷病者が助かる確率がある。

10月上旬からの緊急時の連絡先は、「090-6862-6490」(役場)から119(沖縄県消防指令センター)となります。

国営土地改良事業説明会

沖縄総合事務局土地改良総合事務所は、村コミュニティ施設において、国営土地改良事業多良間地区の住民説明会をおこなった。総合事務所はこれまでの調査から当初の想定より、淡水レンズの水量が少ない。淡水レンズから取水して貯水池に溜め、節水型の畑地かんがいを進めていくと説明した。

また、淡水レンズは過剰に取水すると大きく地下水位が下がり、アップコーニングと言われる塩水の浸入が発生する。一度淡水レンズのバランスが崩れると容易に回復しないとされる。多良間島にとって淡水レンズは貴重な水資源であり、その利用は慎重にやる必要があるなど説明。

*今後の農業農村整備事業管理計画

農業農村整備事業管理計画一覧

(金額単位：百万円)

事業名	地区名	事業主体	受益面積 (ha)	概算総事業費	主要工事概要	予定負担率(%)		前年度までの事業費	当該年度事業費	実施スケジュール・年度別事業費					予定工期	事業番号	関連施策		
						市町村	農家			平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年			関連事業番号	関連性	調整状況
(沖)団農地侵食防止	おおしで大仕出	村	87	450	防風施設1式	5	0	179	60	105	106	0	0	0	H25～H29	C-1			
(沖)団集落基盤	たらまだいに多良間第2	村	3	377	区画整理3.4 ha 利活用施設1式	15	0	0	0	24	114	145	47	47	H28～H32	C-2			
(沖)畑担い手支援	かっじょうカッジョウ	県	37	938	区画整理37ha	8	0.5	0	30	270	250	250	138	0	H26～H30	C-3			
(沖)畑担い手支援	たにがーにし種子川西	県	51	1,330	区画整理51ha	8	0.5	0	0	0	0	50	250	250	H30～H34	C-4			
(沖)団活性化整備	まっちゃん真津阿(団ぼ)	村	12	331	区画整理12ha	4	0.5	323	8	0	0	0	0	0	H23～H27	C-5			
(沖)団活性化整備	みずばま水浜(団ぼ)	村	9	210	区画整理8.5ha	4	0.5	164	18	28	0	0	0	0	H24～H28	C-6			
(沖)団活性化整備	まがりばるマガリ原(団ぼ)	村	11	294	区画整理11ha	4	0.5	118	90	76	10	0	0	0	H25～H29	C-7			
(沖)団活性化整備	むかいばる迎原(団ぼ)	村	11	330	区画整理11.8ha	4	0.5	0	0	20	100	70	70	70	H28～H32	C-8			
(沖)団活性化整備	たかせだいいち高瀬第一(団ぼ)	村	22	588	区画整理22ha	4	0.5	0	0	0	30	150	150	150	H29～H33	C-9			
(沖)団活性化整備	たかせだいに高瀬第二(団ぼ)	村	24	624	区画整理24ha	4	0.5	0	0	0	0	0	30	150	H31～H35	C-10			
(沖)団活性化整備	うがん大神(団ぼ)	村	24	624	区画整理24ha	4	0.5	0	0	0	0	0	0	30	H32～H36	C-11			
都道府県営合計			88	2,268				0	30	270	250	300	388	250					
団体営合計			203	3,828				784	176	253	360	365	297	447					
合計			291	6,096				784	206	523	610	665	685	697					

関連事業等計画及び実施状況

(金額単位：百万円)

事業名 (施策内容)	地区名	事業主体	所管等	総事業費	主要工事概要 事業種目・事業量	前年度までの進捗率 (%)	当該年度事業費	予定工期	事業番号	関連施策		
										関連事業番号	関連性	調整状況
農地・水・環境保全向上対策交付金 (共同活動支援交付金)	たらま多良間地区	他	整備部農地資源課	38	土地改良施設の維持管理	40.0	8	H24～H28	関-1	関-1		
農地・水・環境保全向上対策交付金 (向上活動支援交付金)	たらま多良間地区	他	整備部農地資源課	36	土地改良施設の維持管理	40.0	7	H24～H28	関-1	関-1		
中山間地域等直接支払交付金	たらま多良間地区	他	農村政策部中山間地域振興課	55	受益面積 336 ha	80.0	11	H27～H31	関-1	関-1		

人権講話&コンサートのお知らせ

平成27年7月15日(水)に、人権講話とコンサートを開催します。

これは、人権思想の普及高揚を図り、児童生徒及び住民に人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資することを目的とする。

場 所：多良間村コミュニティ施設
 時 間：午後6時～
 講 師：大城ともや

小中学生・一般住民の参加をお願いします。

尚、入場料は無料です。

子育て支援・医療費助成について

子育て支援として、保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境づくり支援のため、支援策として、多良間村子ども医療費助成に関する条例の一部が改正されました。

内容：第2条

本村に住所を有し、住民基本台帳に記載されている者で、18歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある者又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部を卒業する日は終了する日の属する月の末日までの間にある者をいう。

前第2条に定める助成対象者の助成対象児に係る医療費及び入院食事医療費のうち一部負担金を支払った場合において、当該支払額（高額療養費及び附加給付等）があるときは、その額を控除した額を助成する。とされています。

平成27年4月1日より、0歳から15歳までの児童を対象に、子ども医療費助成システムが、自動償還支払導入になります。今までの、領収書の算定による、支払方法が、子ども医療費助成金受給資格者証を、各医療機関に提示し、自己負担分を支払後に、振り込まれることになりました。

なお、16歳から18歳までの児童は、領収書による支払方法となります。

介護保険からのお知らせ

一定以上の所得のある方は、介護保険サービスを利用した時の負担割合が2割になります。

介護サービスを利用する場合には、費用の一定割合を利用者の方にご負担いただくことが必要です。

持続可能な制度とするため、65歳以上の方（第1号被保険者）のうち、一定以上の所得がある方（原則、合計所得金額が160万円以上の方）には、平成28年8月からサービス費の2割をご負担いただくこととなります。

要介護・要支援認定を受けた方には7月頃、村から負担割合が記された証（負担割合証）が交付されます。

この負担割合証を介護保険被保険者証と一緒に保管し、介護サービスを利用するときは、必ず2枚一緒にサービス事業者や施設にご提出ください。



詳しくは厚生労働省ホームページ または、

多良間村役場住民福祉課 電話0980-79-2623 までお問い合わせください。

多良間村難病患者等に係る航空運賃の一部助成金 交付要綱の一部改正

- ・改正前 往復 1万5千円 各年度 2回まで
- ・改正後 往復 5万円 各年度 5回まで に改正されました。

- ・診断書は年度の最初の申請時に提出して頂ければ、年度中有効とします。
- ・低年齢及び介護を必要とする、付き添いで同行する2親等以内の親族の1名の低年齢とは中学生までとします。

詳しくは、住民福祉課までお問い合わせください。
電話 0980-79-2623

島の歌姫 ふるさとに錦飾る

多良間村出身で、沖縄本島で民謡歌手として活躍している「仲本勝子」さんが、村コミュニティ施設の完成を記念し故郷での初コンサートを開催した。

「生まれ島に思いを馳せて」コンサートは大勢の来場者で溢れ、仲本さんの美しい歌声と奏でる三線の音色は観客を魅了した。

仲本さんは数多くの名曲を披露し、「多良間ゆがぶ音頭」では、村老人クラブの皆さんが舞台でゆがぶ音頭を演じ、盛り上げた。またゲストで「でいご娘」や「ひがけい子&島太鼓・シュビーズ」が出演。迫力ある島太鼓の演奏に参加者らは見入っていた。

コンサート最後は全出演者と観客らが一体となり「多良間ゆがぶ音頭」を歌い上げ、最高潮に達し、「島の歌姫」のコンサートを終えた。

仲本さんはコンサート前に多良間入りし、高齢者福祉センター（萌木の里）でミニコンサートを開き、大勢のお年寄りが駆けつけ仲本さんの歌に聞き入っていた。「多良間ゆがぶ音頭」には島の風景や文化、黒糖や夜空に輝く星のイメージでできる歌詞が盛り込まれており親しみやすく、多良間のPRに一役買っている。



歌詞は次のとおり
作詞：そけいとき
作曲：喜久川ひとし

一
♪海より昇る♪朝日をあびて
♪キビの花穂が♪銀波に揺れる
♪あれに見えるは♪製糖工場
♪フシャヌフスマ♪カギスマ
♪黒糖の島よ
♪パリーワリー
♪マタマイワリー
♪多良間島へ

二
♪牧場の草も♪豊にのびて
♪草を食む牛♪素肌の良さよ
♪空の雲さえ♪見とれてとまる
♪フシャヌフスマ♪カギスマ
♪のどかな島よ

三
♪住んでる人の♪絆はかたく
♪結いの精神が息づく島は
♪老いも若きも♪明るく生きる
♪フシャヌフスマ♪カギスマ
♪情けの島よ

四
♪さざ波よせる♪渚の白さ
♪神の美作の♪珊瑚礁は
♪海の恵みを♪豊にする
♪フシャヌフスマ♪カギスマ
♪珊瑚の島よ

五
♪夕日と月は♪何処でも見える
♪ダイヤモンドの♪光を放つ
♪星がふるふる♪多良間の夜空
♪フシャヌフスマ♪カギスマ
♪星ふる島よ

六
♪八月踊り♪スツウプナカは
♪豊稔願いと♪感謝の祈り
♪祈る心は♪暮らしの要
♪フシャヌフスマ♪カギスマ
♪祈りの島よ

☆ふるさと納税のお礼

仲本 勝子様 (沖縄県那覇市在)

多良間村へ「村長にお任せコース」で
50万円のご寄付がありました。ありがとうございました。

この「ふるさと納税寄付金」制度が導入されたのは、2008年度。多良間村にゆかりのある方、多良間村を「心のふるさと」と思っただけの方々に「ふるさと納税寄付金」を通じて多良間村を応援していただくものです。

寄付金の事業区分は次のとおり

①教育関係コース ②産業振興関係コース ③自然環境関係コース

④村長にお任せコース があり、複数選択可能

※「ふるさと納税」寄付金についての詳細は、多良間村のホームページ「ふるさと応援寄付金」欄からクリックして下さい。

カンキツグリーニング病のまん延を防ぐために

「持ち込み診断」へのご協力お願い!

沖縄県ではカンキツグリーニング病への感染の有無を無料で診断する「持ち込み診断」を実施しています。
カンキツグリーニング病とは? 世界的に重要なかんきつの病害で感染すると数年後に枯れてしまいます。

【病気の広まり方】

ミカンキジラミという虫による媒介や、感染樹からからの取り木・接ぎ木により広まります。

【治療方法】 ありません。病気の木は感染源となるので速やかに伐採処分する必要があります。

【病気の症状】 黄色っぽい葉やまだらに黄色い葉、一部の枝が枯れるなどの症状があります。

*持ち込みの方法

4方向から症状のある葉を含む枝を一本ずつ採取し、袋に入れて下さい。

持ち込み診断の依頼やお問合せは下記にお願いします。

お問い合わせ

- ・病害虫防除技術センター ☎ 73-2634
- ・JA おきなわ宮古地区営農センター ☎ 72-4588
- ・農林水産振興センター ☎ 72-2552
- ・多良間村役場産業経済課 ☎ 79-2503

振り込め詐欺に注意 「年金情報流出」

この年金情報流出事案に関して次のようなことはありません

●日本年金機構や年金事務所からお客様に電話することはありません。

基礎年金番号の変更に関するご連絡は、後日、文書をお送りします。

●日本年金機構からお客様にお金を要求することは一切ありません。

●日本年金機構がお客様にATMの操作をお願いすることは一切お客様の個人情報(家族構成など)を確認することはありません。

・ご自宅や職場などに日本年金機構や機構の職員などを名乗る電話がかかってきたら、迷わずにお電話下さい。

専用電話窓口(コールセンター) 0120-818211

受付時間: 8:30~21:00

警察相談専用電話 #9110 または最寄りの警察署まで

組織の力で中小企業を活性化! ~中小企業組合制度について~

沖縄県は99%以上が中小企業で占められています。特に本県の場合、零細企業が多く厳しい経営状況にある中小企業が多いのが実情です。一人一人の力は弱くても、他社と連携し組合を設立することで協同の力を持つことが出来れば、この厳しい状況を乗り越え、競争に打ち勝つことも可能です。また近年は、学生や主婦等の個人が、創業や雇用機会の確保を目的として設立する企業組合制度も注目されています。あなたも中小企業組合を設立してみませんか?

組合を設立したいと考えている方は、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先 沖縄県中小企業団体中央会
TEL.098-860-2525

2015年県産品奨励月間のお知らせ 「あ、いいね! 使って納得 県産品」

7月は県産品奨励月間です。

県では、県産品の使用奨励と需要の創出による景気の維持、拡大を図り経済の活性化を促進するため、産業界・消費者・行政等全県民と一体となって、県産品奨励運動を展開しています。

今年度は、県産品のすばらしさをPRするため、『あ、いいね! 使って納得 県産品』の標語のもとに県産品の使用奨励に関する広報キャンペーンや各種事業を実施してまいります。

皆様には、本月間を契機に、今一度県産品の良さを再認識され、これまで以上に愛用していただくようお願い申し上げます。

- 沖縄県商工労働部ものづくり振興課 TEL(098)866-2337 FAX(098)866-2447
- (公社) 沖縄県工業連合会 TEL(098)859-6190 FAX(098)859-6193



第68回多良間村職域親善バレーボール大会が去る5月、多良間中学校体育館で開催された。大会には12チーム(8事業所)が参加、日頃の運動不足を解消しながら和気あいあいとしたプレーで湧川畜産が3連覇の栄冠を得た。

今大会は(株)宮古製糖多良間工場が主催(主催は持ち回り)で開催。決勝戦は湧川畜産×宮糖多良間工場Aチームの対戦となった。試合は終盤までシーソーゲームとなり、最後は湧川畜産が大逆転で勝利を納めた。準優勝は宮糖Aチーム、3位は多良間中学校チームだった。

多良間村職域親善
バレーボール大会

湧川畜産

3連覇

◆みんなでグッジョブ運動◆

沖縄県世代間スキル継承型雇用促進事業のご案内

「若手とベテランのペア就労を企業活性化の力に」

*県内に立地する中小企業において、高齢従業員(55歳以上)の継続雇用と、若年者(15歳から30歳)の新規雇用の両立を図り高齢従業員の持つスキルを若年層に継承する世代間ペア就労を取り入れる企業に対し、助成金を交付します。

対象企業

- ①県内に本店もしくは支店を有する中小企業、もしくは主たる構成者が中小企業である団体であって、定年延長などにより、従業員が65歳まで働ける処置が取られている(もしくはとる予定がある)こと。
- ②55歳以上の高齢者を雇用していること。
- ③30歳以下の若年層を新規雇用すること。
- ④世代間ペア就労を県内事業所において3か月間実施すること。

助成額

雇用期間の定めのない雇用・・・若年者1人につき40万円(一事業者あたり3名まで申請可能)

詳しくは公社HPをご覧ください 平成27年度申請様式は、下記から

<http://Okinawa-ric.jp/> 沖縄県産業振興公社 TEL:098-859-6239 FAX:0980-859-6233

広報たらま
寄付金のお礼

福嶺 雅春様 (宮古島市在)

本村 充彦様 (千葉県松戸市在)

森山 勝也様 (沖縄県東村在)

ありがとうございました。



広報たらまのCD-ROMを販売しています

多良間村役場では、「広報たらま」のバックナンバー(平成8年11月～平成16年12月まで)を収録したCD-ROMを販売しています。
動作環境: Windows2000/XP/VistaなどWindows PC

■定価2,500円
(送料別)

詳しくは、多良間村役場 **0980-79-2011** まで。

村長のたうけ一むぬゆむ(ひとりごと)

今は56歳になる中年のおじさん達の17・18歳の頃の話である。I少年は社会人となっていた。K少年とM少年は高校生である。3名とも同期生である。6月のある暑い日だった。Iは平日であるが仕事は休みだった。Iは、自動車免許をとったばかりである。先輩にお願いして車を借りた。こころ浮き浮き朝早く出発した。友達KとMのことが頭に浮かんだ。まずはKの宿へとむかった。Kは学校へいく準備をしていた。「K太郎、免許もとったし、今日は車もある。ヤンバル当たりまでドライブに行こう」。Kは最初「学校があるしなー」と躊躇していた。しかし、遊びたい誘惑にはさかええない。すぐに学校カバンを置いて車に乗った。次はMの宿へ向かった。Mはちようど家を出るところだった。「M令待って」二人は呼び止めた。事のなりゆきを話すとMは喜び勇んでカバンを放り投げ、車に乗った。

廃鶏の肉を買い、三名はルンルン気分です国道58号線をとばした。安謝・大謝名・嘉手納を通り過ぎ恩納村内のビーチに着いた。学校をさぼっていることもあり、気がひけて人がこないような岩陰を選んだ。ここで廃鶏でも焼いて食べようとい

うことになった。Iは泳ぎがとくいである。暑くもあり海をみると泳ぎたくなつた。「ちよつと向こうの岸まで泳いで来る」と言うのと颯爽と泳いで行った。KとMは泳ぎが得意ではない。でも近くの浅瀬であれば大丈夫だった。Kも泳ぎはじめた。Mは「よし、かつこいいところを見せよう」と思った。岩に飛び乗り真つ逆さまに海に飛び込んだ。ところが飛び込んだところは浅かったのだ。Kは身長が低く、Kが立っているのを見てMは深いと勘違いしたらしい。Mは額をけがした。血がどんどん流れた。二人は通りがかりの車の人にお願ひし中部病院に運ばれた。

中部病院で治療してもらった。幸いに血の多さに比べると深い傷ではなかった。二人は治療代も払わず解放された。ところが帰りの車がないのだ。Iは病院に運ばれたことは知らない。二人は無一文である。ヒッチハイクでもして帰ろうか、という事になりとぼとぼ歩いた。親指を立ててヒッチハイクのあいづをしてもだれも止まってくれない。二人は泳いでいたときのままの姿だったのだ。上半身は裸でパンツ一本。1時間・2時間と歩いた。コザ十字路を過ぎ、諸見里当た

りにさしかかったころ、二十歳頃の若いお兄さんが反対方向から来て、わざわざUターンしてきた。事情を話すと、自分は仕事で名護へいく途中だから二人を乗せて行くことができない。「これで何とか帰りなさい」と言つて、二人に千円ずつあげて名前も告げず去っていった。二人は神様にでも会った気分だった。バス停に行きバスに乗った。ちようど高校生の下校時間だった。同年代の女子高生や男子高生でバスはいっぱいだった。二人をじろじろ見ていた。隠れるところはなかった。何とか家にたどりついた。

Iは先に着いていた。ビーチで食べる予定の廃鶏を焼いて食べた。二人はあの神様のようなお兄さんに、お礼がしたくて今でも探している。



5月

世帯数と人口 (平成27年5月末現在)		
総世帯数	520 (-1)	
総人口	1,219 (-6)	
男	650	女 569
区別	人口	世帯数
土原	71 (0)	33 (0)
天川	98 (0)	42 (0)
津川	108 (0)	51 (0)
宮良	68 (-4)	28 (-1)
嶺間	148 (-1)	64 (0)
大道	201 (4)	93 (1)
大木	298 (-5)	118 (-1)
吉川	222 (0)	87 (0)
水納	5 (0)	4 (0)
出生	2	死亡 1
転入	1	転出 8

誕生 ()内は前月比

字仲筋 大城克恵・麻美さんの三女 羽舞ちゃん 平成27年5月10日
 字塩川 佐久本洋平・宏実さんの長女 アムナちゃん 平成27年5月13日

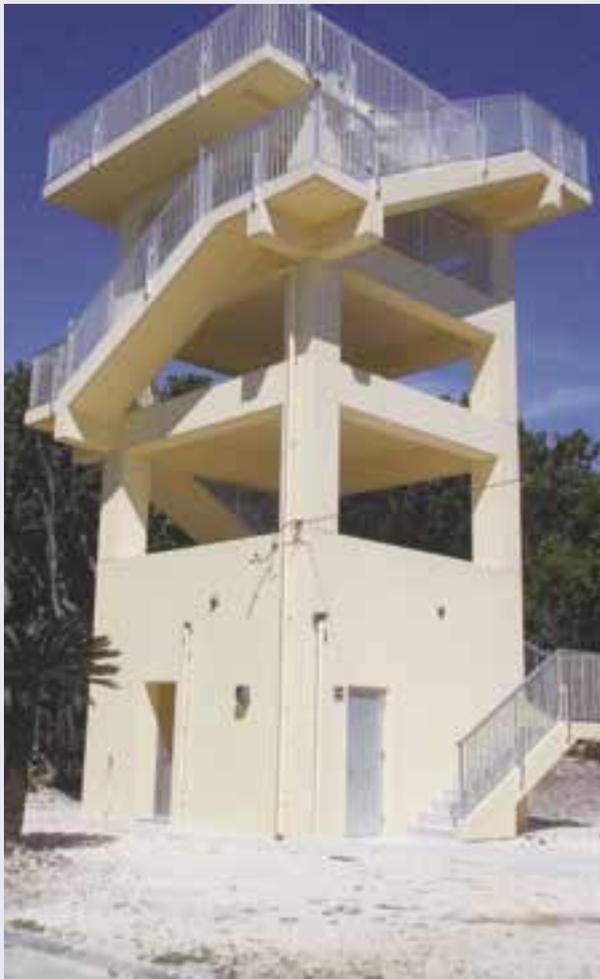
おこやみ

字塩川 下地 利男 平成27年5月15日(83歳)

緊急ダイヤル	
火災 村 消防 (79-2619)	119番
警察 官 派出所 (79-2010)	110番
急病人 (1)多良間診療所	79-2101
(2)時間外	090-6862-6490
(3)役場住民福祉課	79-2623
救急車要請 総務財政課(消防)	79-2619
歯科診療所 医師	79-2162
停電 沖縄電力多良間営業所	79-2147
断水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

救急に関すること
(5月)

- ◆時間外救急受付 22件
 - ◆救急車出動 3件
 - ◆ヘリ搬送 1件
- 救急車要請：
79-2619
- 急病人時間外：
090-6862-6490



▲水納島津波避難施設



▲ホテイアオイ(大木地区のアレーキ池で時々満開の花が見える)

編集後記

☆暑い、とにかく暑い日が続く毎日である。これからが本格的な夏はやってくる。

外での作業をされる方は、こまめな水分補給を忘れてはならない。熱中症や脱水症で病院へ運ばれると、ニュース等でよく耳にする。昨日、多良間では34度まで気温が上がった。体調管理は自分で！

☆コミュニティ施設において、多良間島が生んだ歌姫が初のコンサートを開いた。会場は大勢の来場者で立ち見客もいた。3時間のコンサートを初めて見た。あっぱれであった。また、今度いつコンサートが開かれるか楽しみに待た。

☆水納島は海拔7Mしかない、3階建て(11M)の津波避難施設ができた。屋上へ上がると島が一望でき展望台でもある。